

令和6年度 秋葉区組織目標

組織名	秋葉区	部長	区長 長崎 忍
組織の目的・方向性	秋葉区では、区の将来像である「里山と水に囲まれて 花と緑あふれる 笑顔咲きそろうまち」を実現するため、秋葉区の特性を生かしたまちづくりを推進します。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*	・職業を理由とした県外との転出入数 ・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 ・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができると思う高齢者の割合 ・新潟市は子育てしやすいまちだと思える保護者の割合 ・観光入込客数 ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

秋葉区組織目標

秋葉区では、新潟市総合計画 2030、区ビジョンまちづくり計画や地域福祉推進計画に基づいて、時代の潮流を踏まえつつ、区の将来像である「里山と水に囲まれて 花と緑あふれる 笑顔咲きそろうまち」を実現するため、秋葉区の特性を生かした「環境に配慮した潤いとやすらぎのあるまち」、「やさしさがあふれる楽しく元気なまち」、「歴史と個性を活かすまち」、「可能性を生み出し、育て、活かすまち」を目指します。

この方針のもと、今年度は次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 「アキハスンプロジェクト」の理念のもとで、秋葉区の特性或魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図るとともに、移住者増のための仕組みづくりに取り組みます。
- 2 区役所の窓口サービスにおける市民満足度の一層の向上を図ります。
- 3 「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及しながら、地域住民や関係機関と連携・協力して健康づくりや福祉課題を解決する取り組みを推進します。
- 4 地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。また、新潟薬科大学等との連携により互いの資源や成果を共有するなど交流を深め、教育機関の英知を活かした施策展開や地域との連携につなげることで、質の高いまちづくりを進めます。
- 5 新津川や能代川沿いの遊歩道のほか、秋葉公園内の環境整備を市民と協働で行います。また、秋葉公園リニューアルの方向性を区民の声をしっかりと聴きながら検討を行います。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

重点目標の達成状況	目標数	5 件	達成数	1 件
【重点目標 1】 達成状況 =一部未達成 ・ 移住定住の取組について近隣都市（三条市・阿賀野市）との意見交換を行いました。 ・ 他都市の事例を参考に移住相談者カードを修正し、業務フローを改善しました。 ・ 各コミ協で把握している空き家情報を共有し、移住検討者への相談対応の強化を図りました。 ・ 1 月 4 日に銀座・新潟情報館「THE NIIGATA」で秋葉区のプレイヤーとの移住＋物産フェアを移住コンシェルジュと共催して 150 人超の来場者を迎えて、移住・交流・関係づくりを行いました。 【重点目標 2】 達成状況 = 一部未達成 ・ 前期アンケート 平均評価点 4.34 点、各評価項目とも平均評価点 4 点以上 ・ 後期アンケート 平均評価点 4.47 点、各評価項目とも平均評価点 4 点以上 アンケート数は 100 件を超えた（今までは 80 件程度） ・ 課内にアンケート結果を周知 各係で課題を共有し、改善策を検討し改善に向けた取り組みを実施 【重点目標 3】 達成状況 = 一部未達成 ・ 認知症に関する普及・啓発活動として、講演会を開催するとともに、区だよりや FM にいつによる周知、庁舎や区バスへポスター掲示を各 1 回行ったほか、新津図書館において関連書籍を集めた企画展示を実施。計 13 回の普及・啓発活動を行いました。 ・ 発達障がいテーマに、障がいへの理解を深めるため講座を開催し、48 名が参加しました。 ・ 療育教室などを利用する子どもの保護者を対象に、保護者支援講座（10 月 2 日から全 6 回）を開催し、4 名が参加しました。 ・ 地域の子育て情報の提供や絵本のプレゼントを行う子育てサポーター「CoCo アキハ」が、産前または産後のお母さん宅を訪問しました。（訪問希望者の割合は母子手帳交付の 68.5%） ・ 保育コンシェルジュ等が子育て支援センターなどへ 16 回出向き、「出張！妊娠・子育てほっとステーション」を開催し、参加者へ保育園入園などの子育て情報の発信を行いました。 ・ 地域のお茶の間等に対してフレイル予防講座の活用をすすめるとともに、健康教育の依頼があった際には積極的にフレイル予防の内容を盛り込みました。また、地域のイベント等では子どもに対しても普及啓発を実施し、延べ 1,575 人と増加しました。住民サポーターの研修会を実施し、「体操のポイントを教えてもらい良かった」「茶の間で活用したい」等の感想がきかれ、地域での活動支援につながりました。 ・ 小学校 6 年生 90 人が「ジュニアドック（生活習慣病健診）」を受診し、小学 4～6 年生とその家族 20 組 54 人に「からだづくり講座」を実施した結果、生活習慣の重要性について理解が得られた割合は 9 割以上となりました。				

【重点目標 4】達成状況 = 一部未達成

地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。また、新潟薬科大学等との連携により互いの資源や成果を共有するなど交流を深め、教育機関の英知を活かした施策展開や地域との連携につなげることで、質の高いまちづくりを進めます。

●わくわく石油楽習事業

- ・より理解を深めてもらうため事前学習を行うなど、関係者との協議、調整を図り準備を進め、5 小学校（結、小合東、小合、金津、新関）：155 人が参加しました。

●里山未来創造事業（マウンテンプレーパーク）

- ・33 回開催、1,565 人（平均 47 人）が利用しました。
- ・SNS の活用、区だよりの発信に加え、PR チラシを継続配布し広報周知を図りました。
- ・前期は体験会の実施などにより目標以上の利用者数となったが、夏場の猛暑日、冬場の天候悪化などの影響から屋外での活動が避けられたため利用者の減少が著しかった。

●アキハ「鉄道物語」

- ・JR、商店街連合会、観光協会、鉄道資料館等との連携により観光案内所の運営を行うとともに、SL再運行 25 周年記念イベント等を実施しました。
- ・レンタサイクルを運営しました。
- ・SL運行に合わせた観光案内所の開設時間を拡大しました。
（運行日は30分早く開館）

●新潟薬科大学等との連携事業

- ・各種団体の協力、連携により新潟薬科大学キャリア形成実践演習を実施しました。

【重点目標 5】達成状況 = 目標どおり達成

・市民協働による環境整備活動

関係団体と連携し、「あきは SDGs トライ新津川クリーン作戦」などの環境整備活動を計 3 回実施、合計 441 人が参加しました。

◇あきは SDGs トライ新津川クリーン作戦；11 月 3 日参加者 300 人

◇新津川水仙球根植栽；11 月 3 日参加者 60 人

◇あきは SDGs トライ秋葉公園クリーン作戦；11 月 16 日参加者 81 人

（子育て世代に呼びかけを行い、スタンプラリーを同時開催）

・秋葉公園リニューアルに向けた取り組み

「秋葉公園魅力アップ事業」で、支障木の伐採や伐採木の利活用を試行しました。職員研修（クヤクショソーシング）を活用して区内部で「秋葉公園リニューアルコンセプト（案）」を作成しました。

【重点目標 1】

- ・首都圏での移住＋物産フェアを開催し、秋葉区への移住をPR
- ・U・Iターンの促進のため大学との連携を図る

【重点目標 2】

窓口対応などの課題について効果的な改善策を講じ、検証を行うため、再度アンケートを実施する。引き続き利用者から納得感を感じてもらえる窓口を構築していく。

後期窓口アンケート 2月17日～2月28日実施予定

【重点目標 3】

- ・認知症に関する講演会の開催のほか様々な啓発事業を継続し、認知症への理解が深まる機会の提供に努めます。
- ・区民の関心が高い精神障がい、発達障がい等をテーマに講座を開催し、障がいへの理解が深まるよう努めていきます。
- ・療育教室などを利用している子どもの保護者が、悩みや心配ごとを共有できる場を提供し、不安感や孤立感の解消を図っていきます。
- ・引き続き「子育てサポーターによる訪問活動」や「出張！妊娠・子育てほっとステーション」等の事業により、地域の子育て情報の発信に努めます。
- ・身近な地域のお茶の間等で、住民が主体となり健康づくり活動が行えるように支援を行います。住民サポーターへの研修は、地域での活動支援のために引き続き実施します。
- ・3年間のジュニアドックの結果から、総合判定では要指導・要医療となった児童が約半数見られました（精密検査後、異常なしを含む）。今後は得られた結果を、世代を問わず各種保健事業や地域のイベントなどにおいて周知を図り、運動を含めた健康的な生活習慣の実行が出来る様周知・啓発を図っていきます。なお、ジュニアドックは一定の成果が得られたと判断し本年度をもって終了とします。
- ・からだづくり講座については生活習慣に関して家族ぐるみで意識が改善する効果があり、今後は保護者に向けての別事業で実施します。

【重点目標 4】

- ・広報の強化、事業運営などの改善検討を行い、次年度の企画に反映させることで、各利用者の増を図ります。

【重点目標 5】

- ・市民協働による環境整備活動
市民協働での環境整備活動に多くの方々に参加いただき、持続的な活動を実現するためには、担い手となる子育て世代や学生・若者への周知・啓発が重要です。関係団体と連携し、多方面での広報・周知活動を進めていきます。
- ・秋葉公園リニューアルに向けた取り組み
作成したリニューアルコンセプト（案）を基に、地域関係者と意見交換を行い、「にぎわいゾーン」を中心とした活性化や利便性向上に向けた検討を進めていきます。